

教育プログラム・コースの概要

大学名等	弘前大学大学院医学研究科						
教育プログラム・コース名	小児血液・がん専門医育成コース						
対象者	医学研究科医科学専攻大学院生						
修業年限（期間）	4年						
養成すべき人材像	・造血器腫瘍を含む小児がんの子どもたちに質の高い専門医療を提供し、小児がん診療の発展に貢献しうる医師						
修了要件・履修方法	所定科目合計30単位以上の履修と実習を修了し、かつ学位論文を作成した上で、学位審査および最終試験に合格すること。						
履修科目等	<p><必修科目> 基礎科目6単位、学際科目4単位、所属研究分野の専門科目（地域医療診療実習、がんセンターボード実習・演習他）17単位</p> <p><選択科目> 臓器別がん治療、放射線基礎、緩和基礎、成人教育論他から3単位</p>						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	指導環境・研究環境が整っている本学附属病院で、小児の血液腫瘍や固形がん領域に関する幅広い知識と十分な経験および技能を習得することができる。特に、本院は、日本小児がん研究グループ（Japan Children's Cancer Group, JCCG）のダウン症関連白血病の中央診断施設であり、全国から臨床検体が集積する。これまでに、本症に関する最先端の研究を世界に発進しており、関連する研究に従事することにより、小児がん研究者としての基本を学ぶことができる。						
指導体制	本学附属病院は、日本小児血液・がん学会および日本血液学会の専門医研修施設である。小児血液・がん指導医および血液指導医のもとで、小児がんに関する十分な臨床経験を積むことができる。さらに、専属の研究者の研究指導を受けることができ、小児血液・がん領域の最先端の分子生物学を効率的に学ぶことができる。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	小児血液・がん専門医（日本小児血液・がん学会）、血液専門医（日本血液学会）を取得し、さらに小児血液・がん指導医および血液指導医を目指す。さらに、希望者には、研究者としての視野を広げるため、海外留学を推奨する。						
受入開始時期	平成30年4月						
受入目標人数	対象者	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	医学研究科 大学院生	—	2	2	2	2	8
	計	0	2	2	2	2	8